

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年 3月30日

事業所名 ひだまりのおうち 保護者等数(児童数) 7 回収数 5 割合 70%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5					
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5					
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5					
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	5					
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	4			1		・その日の活動内容とどういう様子だったのか?ご家族に簡潔に説明するように徹底。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2			3		・コロナが落ち着いたら検討・開始
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4			1		・不安や困りごとがあったら話しやすいような関係性作り。日頃からのやり取りを大切にするように。保護者の方の変化に気付いた時は直掛はを(管理者に報告)し
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1		3	・コロナ禍が落ち着いたら、茶話会のような機会が欲しい	・コロナが落ち着いたら検討・開始
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			1		・苦情については速やかにスタッフに周知徹底し、今後の対応等、保護者に報告しているが、今後も引き続き徹底していく。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4			1		・送迎時に話す内容によっては、後日改めて時間を必要とする時があるので、その際は保護者と話し合い別日を作るようにする。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5					
14	個人情報に十分注意しているか	5						
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3			2		・契約時に説明するが、定期的に(年度ごと)に確認してもらう
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4			1		・契約時や実施時に説明するが、定期的に(年度ごと)に確認してもらう
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	4			1		・児に対しては今後も体調に合わせた過ごし方の提供をしていく
	18	事業所の支援に満足しているか	5					

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。